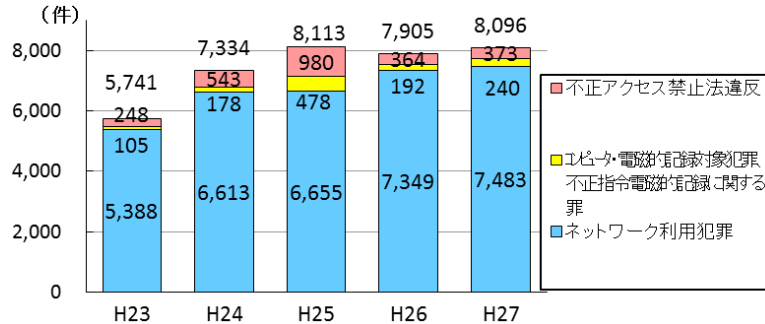


サイバー空間の脅威

サイバー犯罪の情勢

サイバー犯罪の検挙件数の推移



- インターネットバンキングに係る不正送金事犯の被害額
→ **約30億7,300万円** (平成27年中)
(多くの金融機関に被害が拡大)

サイバー空間の脅威は深刻化

サイバー攻撃の情勢

【海外】

- ウクライナの一部地域において大規模な停電が発生
- 米連邦人事管理局 (OPM) が保有する米政府職員等の個人情報の一部が流出

【国内】

- 日本年金機構を始めとする我が国の多数の機関、事業者等で情報窃取等の被害が発生



世界的規模でサイバー攻撃が頻発

今後の取組

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の大規模な国際行事の成功のためにも、サイバー空間を含めた治安の維持に万全を期す必要がある。

昨年9月に「警察におけるサイバーセキュリティ戦略」を制定。これに基づき、警察組織の総合力を発揮した効果的な対策を推進していく。

対処能力の強化

- 一般財団法人日本サイバー犯罪対策センター (JC3) との連携
- 重要インフラ事業者等との情報共有・共同対処訓練の推進
- ICPOシンガポール総局(IGCI)等国际機関との情報交換等

組織基盤の強化

- サイバーセキュリティ対策研究・研修センターにおける実践的実習
- 高度専門人材の確保・育成方策の更なる検討等

脅威の低減

- 違法行為の徹底した実態解明及び取締り
- 関係機関と連携した社会全体の防御力・回復力の向上等